

水辺社会実験 アンケート調査結果

名古屋工業大学 伊藤孝紀研究室

2018.11.07

調査概要

調査目的	社会実験での要望を把握するとともに、評価される要素を明らかにする。
調査方法	Google フォームを用いたアンケート形式
調査日時	2018年9月22日(土) 18:00~20:00
調査対象	社会実験の参加者(計36名)
回答者数	28名(市内12名、市外16名)

アンケート回答画面

桑名ほんぱく・ミズべバル2018に関するアンケート調査

*必須

お名前*

回答を入力

メールアドレス

回答を入力

年齢*

20代未満

20代

30代

40代

50代

60代

70代以上

桑名市への来訪経験(桑名市外にお住みの方のみ回答ください)

ある

ない

次へ

Google フォームでパスワードを記憶しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・追加規約

Google フォーム

当日風景



当日は会場にて調査の協力を呼びかけ



三重県内の食材を用いた料理が振舞われた

アンケート項目

【1】参加者属性

アイテム	カテゴリー
性別	a 男性 b 女性
年齢	a 20代未満 b 20代 c 30代 d 40代 e 50代 f 60代 g 70代以上
職業	検討中(参加者のリストにより調整)
居住地	a 市内 b 県内(市外) c 県外
桑名への来訪経験	a ある b ない c 居住している

【2】評価

	項目	設問	指標(5段階評定尺度)	
総合	満足度	社会実験に満足しましたか。	満足した - 満足しなかった	
	リピート	今回のような社会実験にまた参加したいと感じましたか。	参加したい - 参加したくない	
食	満足度	食の提供は満足しましたか。	満足した - 満足しなかった	
	目的との整合性	ブランドコンセプト	食の提供から桑名らしさやブランドコンセプトを感じましたか。	感じた - 感じなかった
		水辺との調和	食の提供は水辺との調和を感じましたか。	感じた - 感じなかった
		事業性	食の提供から水辺での事業を行ってみたいと感じましたか。	感じた - 感じなかった
	食への追加項目	テーマ	食の提供でのテーマを感じることはできましたか。	感じた - 感じなかった
		価格	食事の価格は適切であると感じたか。	適切である - 適切でない
		提供方法	食事の提供方法には満足しましたか。	満足した - 満足しなかった
		→理由	a 立食での提供 b BBQ形式での提供 c ピンチョスでの提供 d 小皿での提供 e その他	選択肢から複数選択
		内容	食事の内容に満足しましたか。	満足した - 満足しなかった
		食材	食事で使用した食材に満足しましたか。	満足した - 満足しなかった
リピート		食の提供により今回のような社会実験にまた参加したいと感じましたか。	参加したい - 参加したくない	
会場	満足度	会場に満足しましたか。	満足した - 満足しなかった	
	目的との整合性	ブランドコンセプト	会場から桑名らしさやブランドコンセプトを感じましたか。	感じた - 感じなかった
		水辺との調和	会場は水辺との調和を感じましたか。	感じた - 感じなかった
		事業性	会場から水辺での事業を行ってみたいと感じましたか。	感じた - 感じなかった
	社会実験会場への追加項目	テーマ	会場は写真映えするような空間と感じましたか。	感じた - 感じなかった
		什器	会場の什器は適切と感じましたか。	適切である - 適切でない
		→理由	a 地元木材の利用 b デザイン c 水辺との関係 d 配置 e 什器の数 f 什器の使用感 g その他	選択肢から複数選択
		演出	会場の演出は良いと感じましたか。	良かった - 良くなかった
		→理由	a ライトカプセルの演出 b 布の演出 c 風船での演出 d 水辺との関係 e その他	選択肢から複数選択
		回遊性	会場は回遊しやすかったですか。	回遊しやすい - 回遊しにくい
規模		会場の広さは適切であると感じましたか。	適切である - 適切でない	
リピート	会場の設えにより今回のような社会実験にまた参加したいと感じましたか。	参加したい - 参加したくない		

ソフト面について

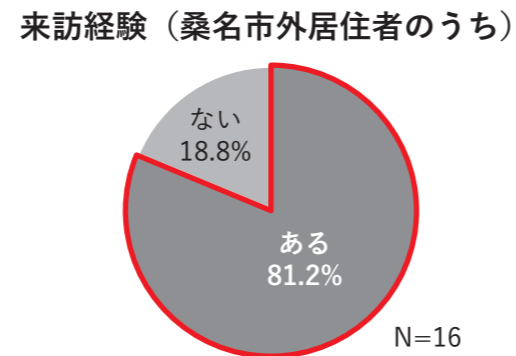
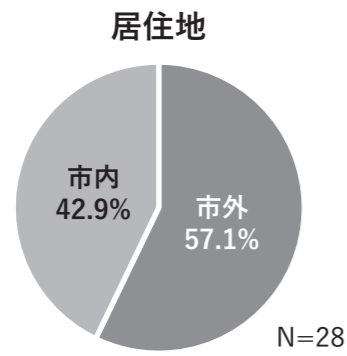
ハード面について

【3】要望

アイテム	カテゴリー
開催内容	a 飲食 b 販売 c 展示 d 船舶係留 e 農業 f 音楽 f その他
開催頻度	a ほとんど毎日 b 週1回程度 c 月1回程度 d 半年に1回程度 e 年1回程度 f その他
開催場所(水辺)	a 堤防上 b 高水敷 c 水上(船上など) d その他
開催場所(水辺以外)	a 公園 b 商店街 c 道路 d 駅周辺 e その他
活用してほしい地域資源	a 食文化資源 b 伝統文化資源 c 歴史景観資源 d 自然景観資源 e その他

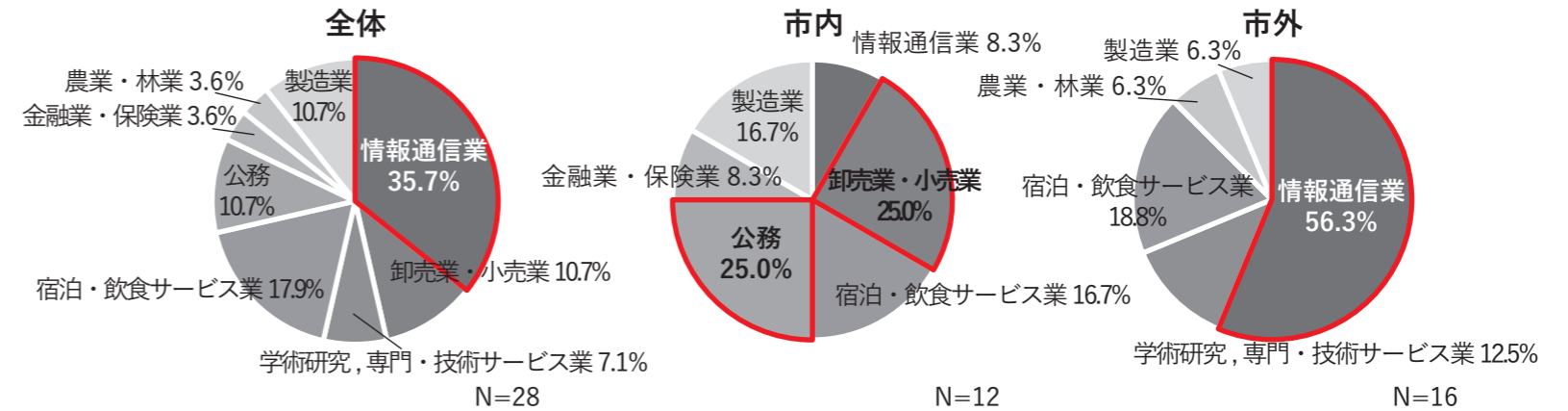
【1】参加者属性

1. 居住地と桑名への来訪経験



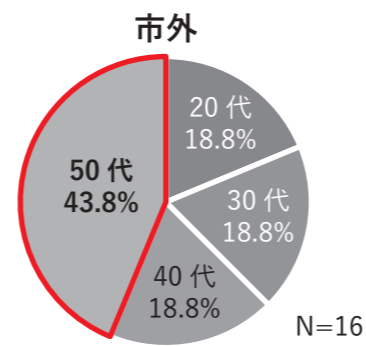
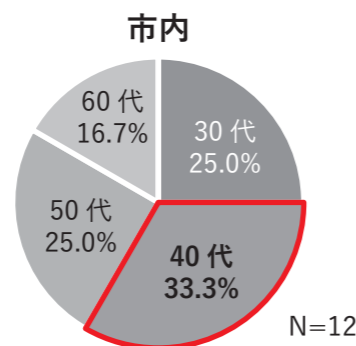
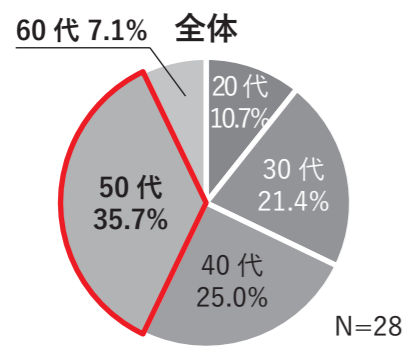
・「居住地」は[市外]が57.1%、[市内]が42.9%であった。
 ・市外居住者のうち桑名市への来訪経験[あり]が81.2%であった。

4. 職業



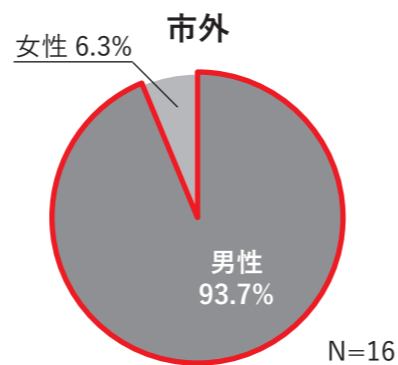
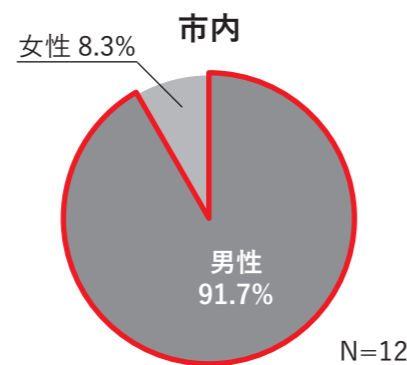
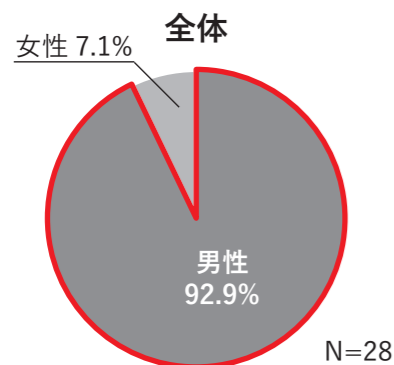
・全体では[情報通信業]が35.7%と高く、市内では[卸売業・小売業][公務]が25.0%、市外では[情報通信業]が56.3%と高かった。

2. 年齢



・全体では[50代]が35.7%と高く、市内では[40代]が33.3%、市外では[50代]が43.8%と高かった。

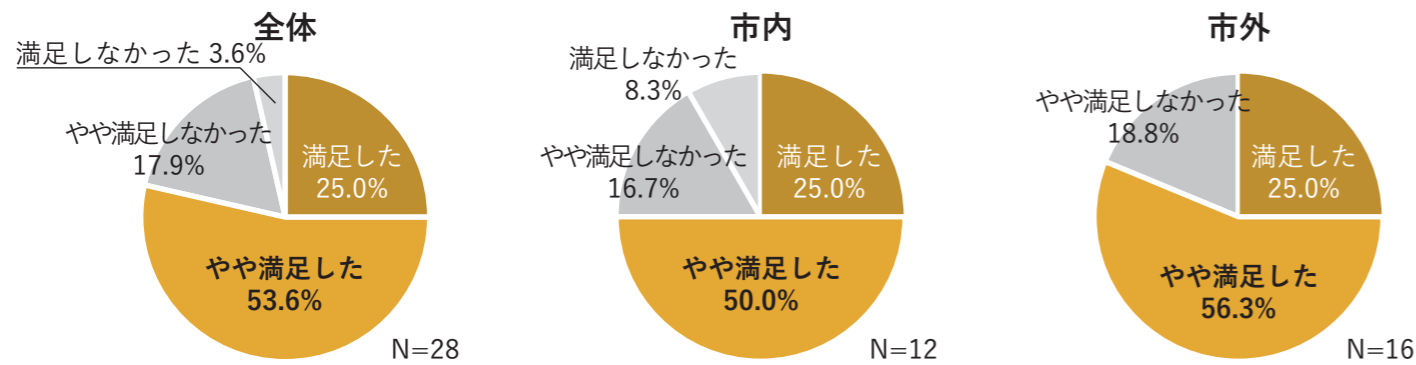
3. 性別



・全体では[男性]が92.9%と高く、市内では[男性]が91.7%、市外では[男性]が93.7%と高かった。

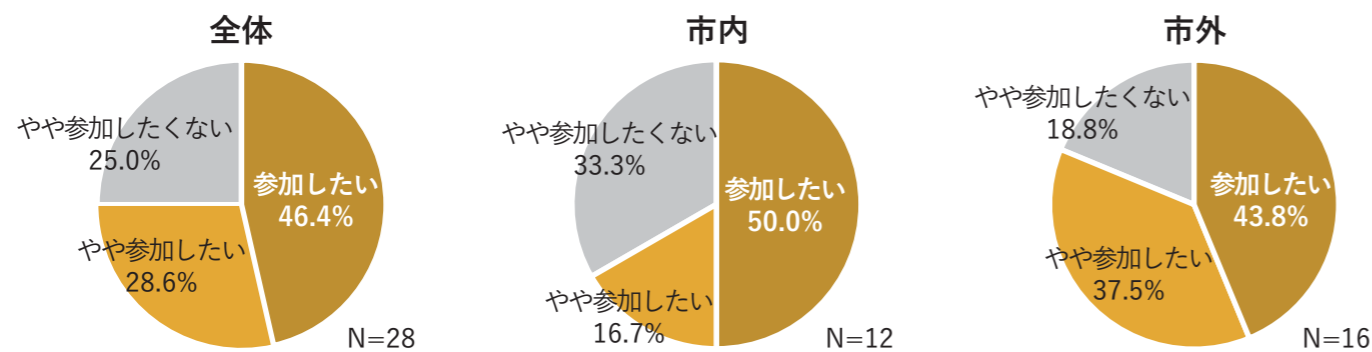
【2】評価 - 総合 -

1. 満足度



・全体、市内、市外は共通して [やや満足した] がそれぞれ 53.6%、50.0%、56.3% と高かった。

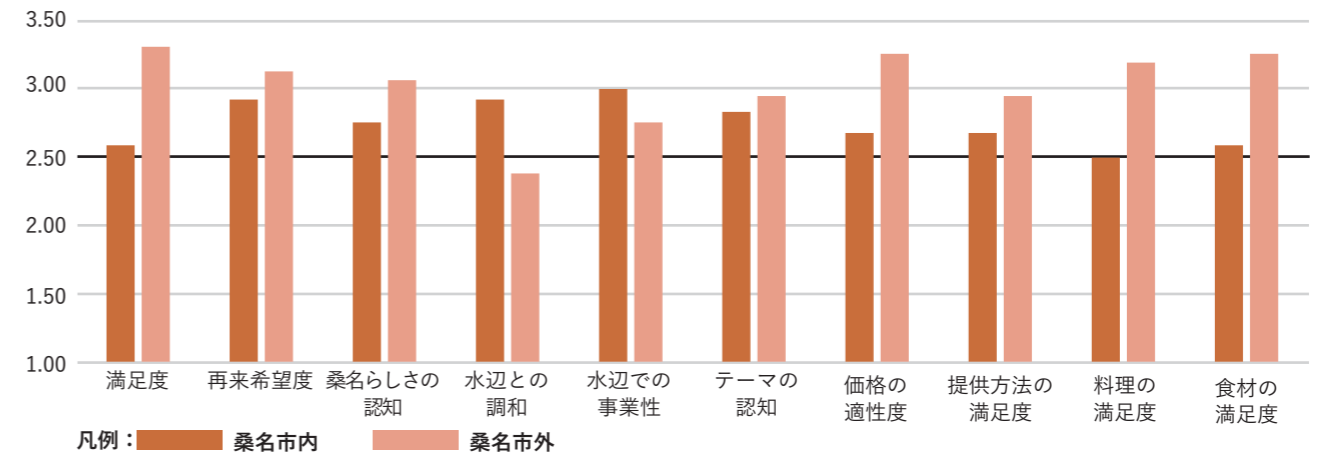
2. 再来希望度



・全体、市内、市外は共通して [参加したい] がそれぞれ 46.4%、50.0%、43.3% と高かった。

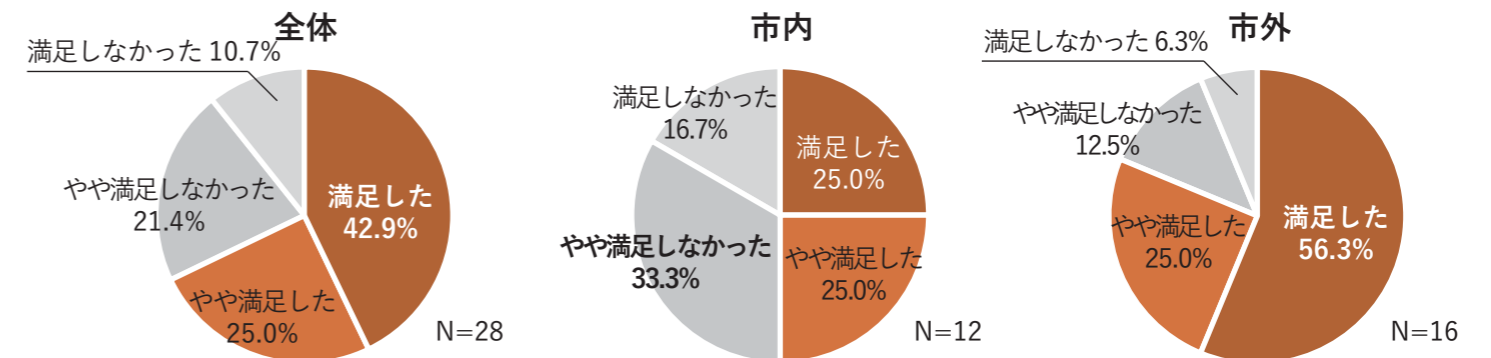
【2】評価 - 食 -

1. 各項目に関する、市内外の評価の比較



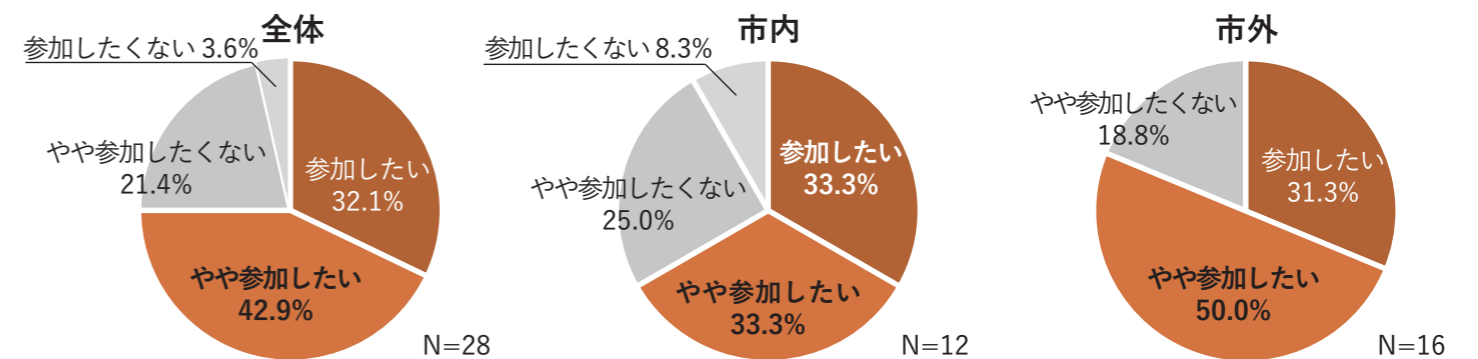
・「満足度」「料理の満足度」「食材の満足度」は市内に比べ市外の評価が高かった。
 ・「水辺との調和」「水辺での事業性」は市内に比べて市外の評価が低かった。

2. 満足度



・全体では [満足した] が 42.9% と高かった。
 ・市内では [やや満足しなかった] が 33.3%、市外では [満足した] が 56.3% と高く、市外からの評価が高かった

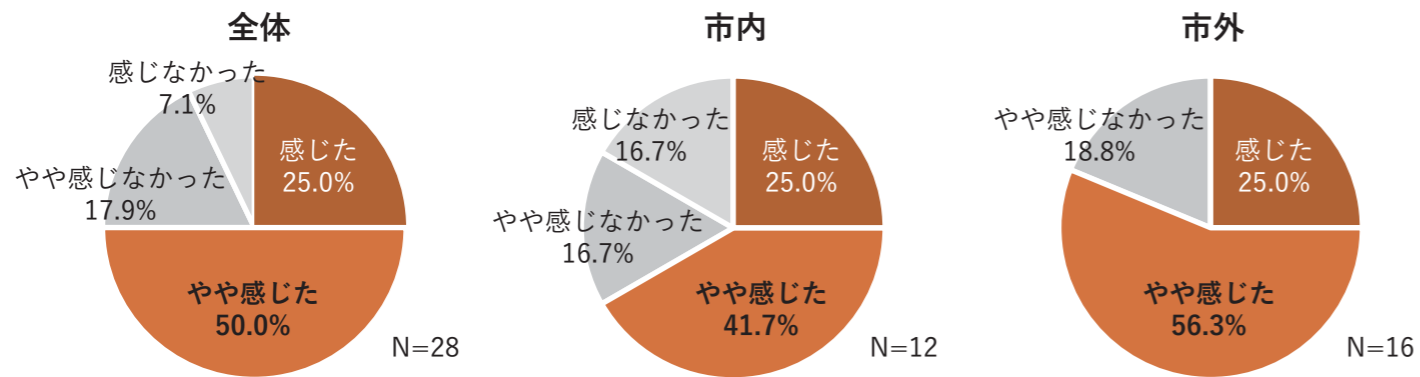
3. 再来希望度



・全体では [やや参加したい] が 42.9% と高かった。
 ・市内では [参加したい] [やや参加したい] が 33.3%、市外では [やや参加したい] が 50.0% と高かった。

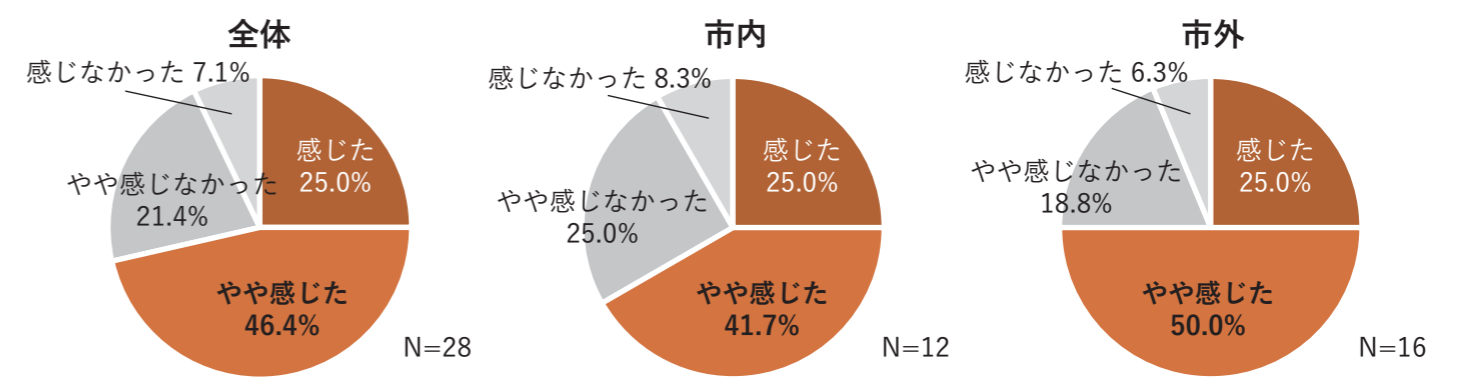
【2】 評価 - 食 -

4. 桑名らしさ、ブランドコンセプトの認知



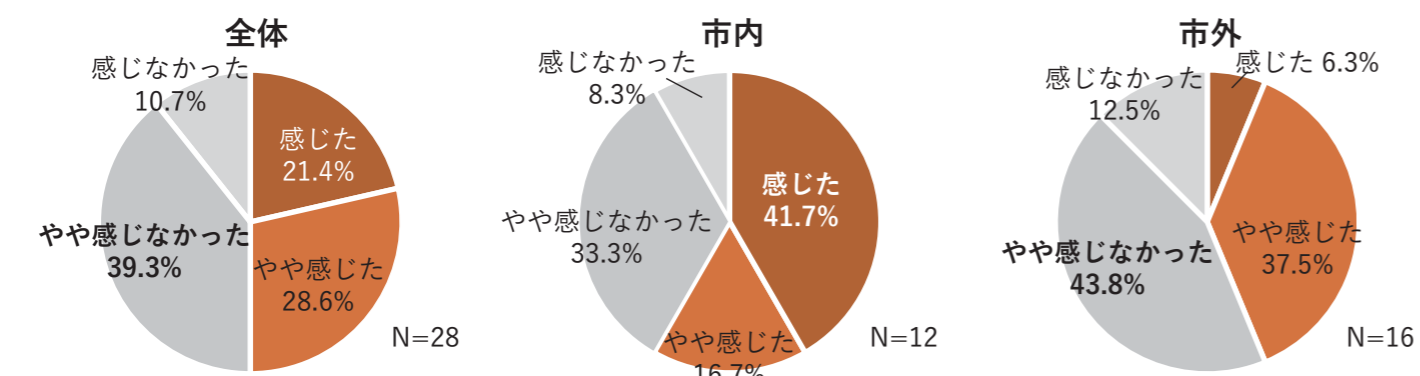
・全体では「やや感じた」が50.0%と高かった。
 ・市内、市外ともに「やや感じた」がそれぞれ41.7%、56.3%と高かった。

7. テーマの認知



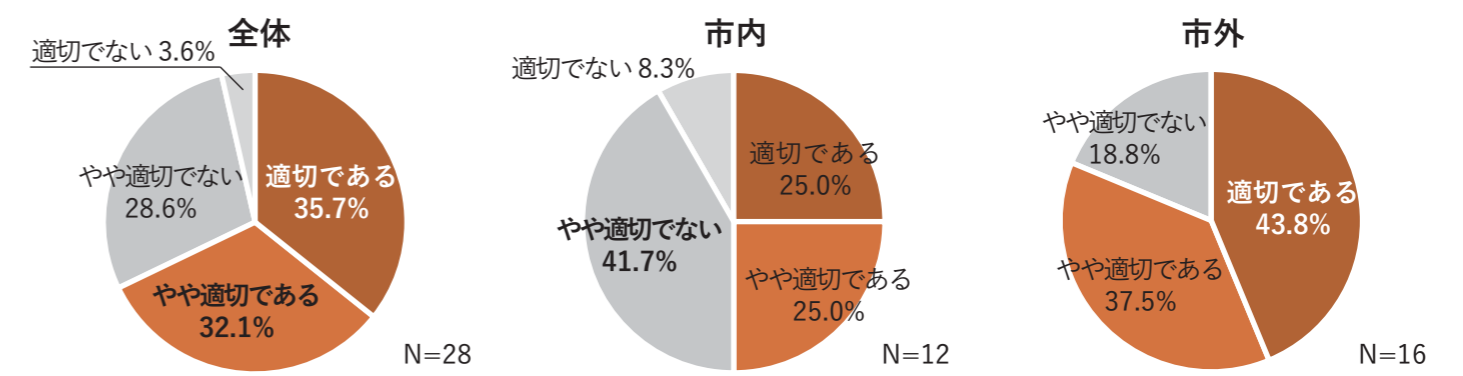
・全体では「やや感じた」が46.4%と高かった。
 ・市内、市外ともに「やや感じた」がそれぞれ41.7%、50.0%と高かった。

5. 水辺との調和



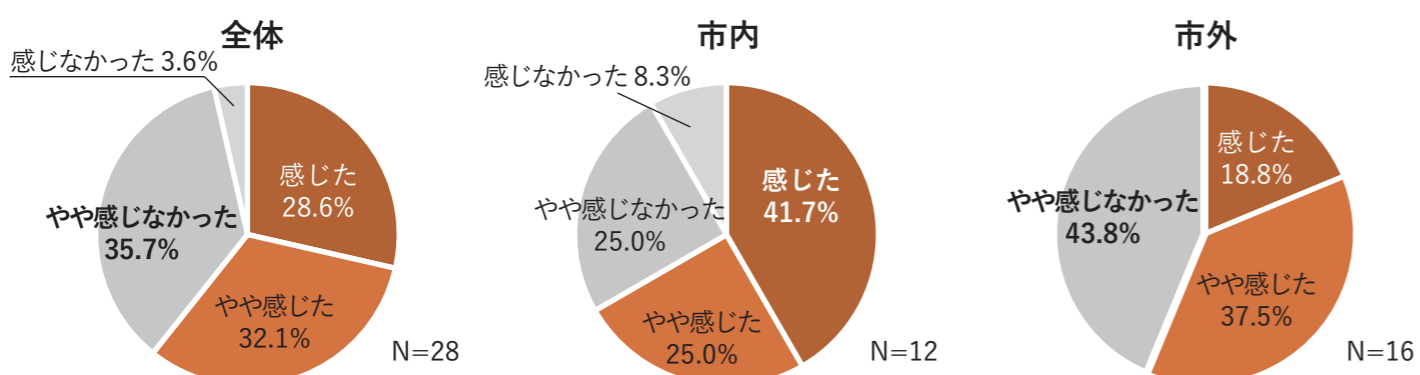
・全体では「やや感じなかった」が39.3%と高かった。
 ・市内では「感じた」が41.7%、市外では「やや感じなかった」が43.8%と高く、市内からの評価が高かった。

8. 価格の適切度



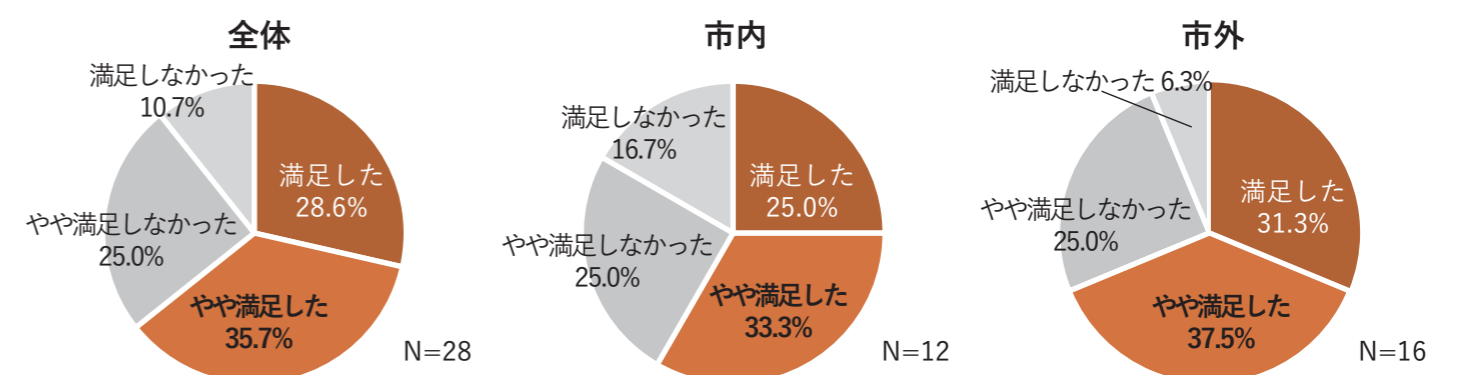
・全体では「適切である」が35.7%と高かった。
 ・市内では「やや適切でない」が41.7%、市外では「適切である」が43.8%と高く、市外からの評価が高かった。

6. 水辺での事業性



・全体では「やや感じなかった」が35.7%と高かった。
 ・市内では「感じた」が41.7%、市外は「やや感じなかった」が43.8%と高く、市内からの評価が高かった。

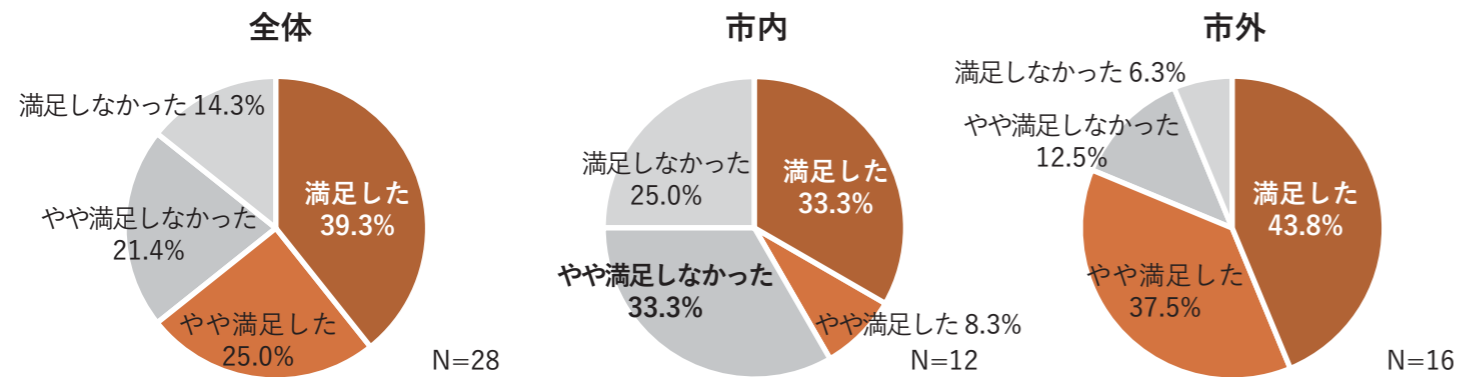
9. 提供方法の満足度



・全体では「やや満足した」が35.7%と高かった。
 ・市内、市外ともに「やや満足した」がそれぞれ33.3%、37.5%と高かった。

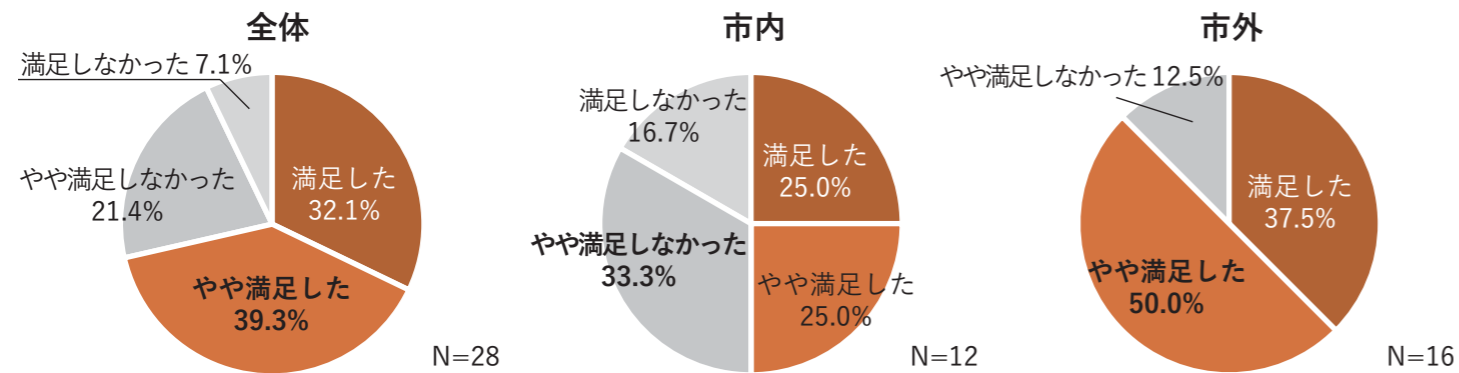
【2】評価 - 食 -

10. 料理の満足度



・全体では「満足した」が39.3%と高かった。
 ・市内では「満足した」「やや満足しなかった」が33.3%、市外では「満足した」が43.8%と高く、市外からの評価が高かった。

11. 食材の満足度



・全体では「やや満足した」が39.3%と高かった。
 ・市内では「やや満足しなかった」が33.3%、市外では「やや満足した」が50.0%と高く、市外からの評価が高かった。

考察

【全体から】

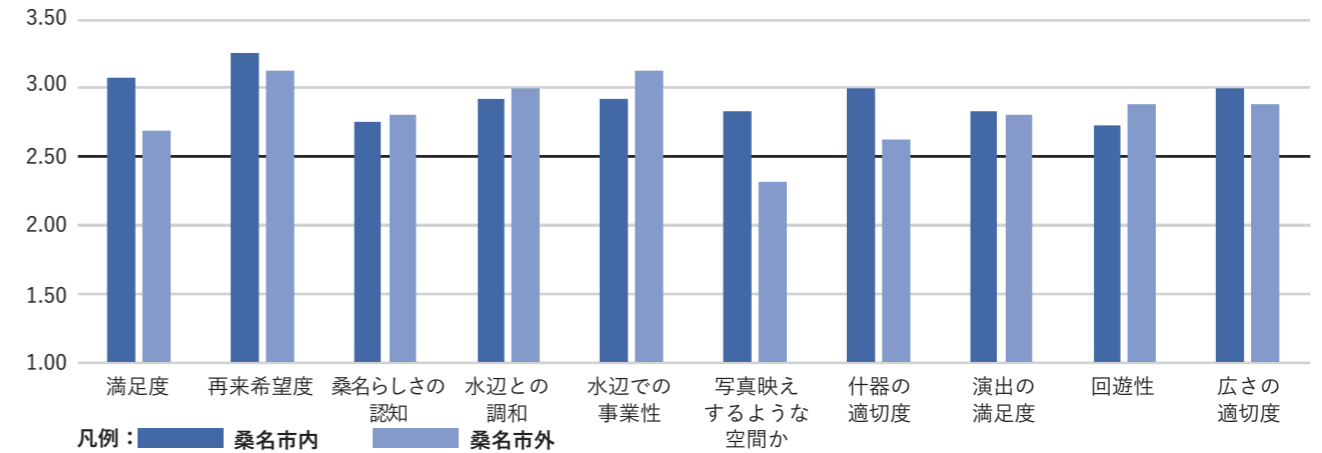
- ・「桑名らしさの認知」や「食材の満足度」が高く、これは社会実験にて運営者が参加者に対し説明を行ったことや、地域ならではの資源を使用したことが影響していると考えられる。
- ・「水辺との調和」や「水辺での事業性」の評価が低く、これは水辺での風の強さや暗さにより食事の提供の遅れや机上の紙皿が飛ぶなどの影響を及ぼしていたためと考えられる。

【市内・市外の比較から】

- ・市内に比べ市外の方が食に対する評価が高く、これは桑名市の食に対する新規性が影響していると考えられる。
- ・食と水辺との関係を示す要素では市外に比べて市内の方が評価が高く、これは桑名市の食文化や食材の川との関わりに対する理解が影響していると考えられる。
- ・テーマの認知は市内と市外で大きな差は見られず、社会実験中に行われた運営者によるテーマやコンセプトの説明が市内外にかかわらず評価を得ていたと考えられる。

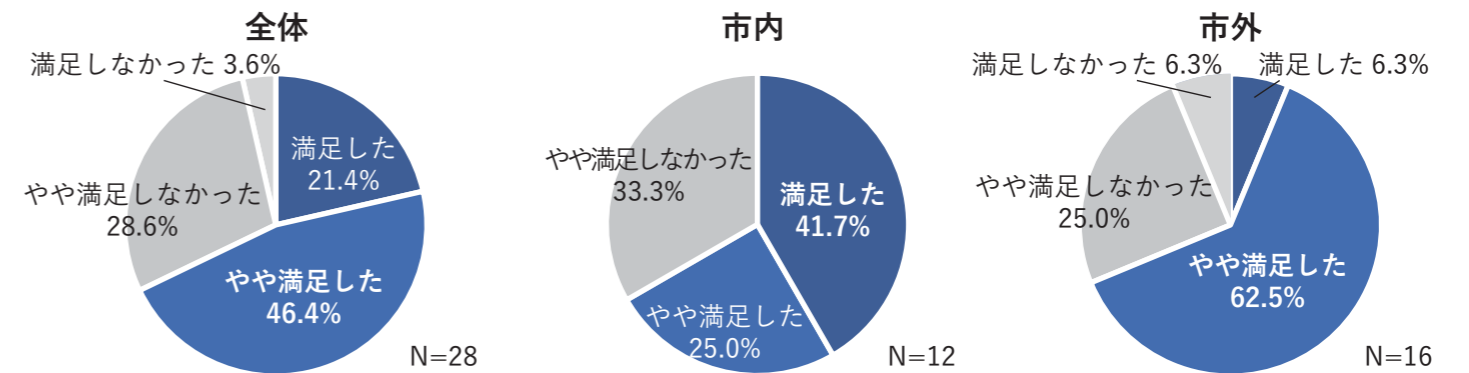
【2】評価 - 会場 -

1. 各項目に対する、市内外の評価の比較



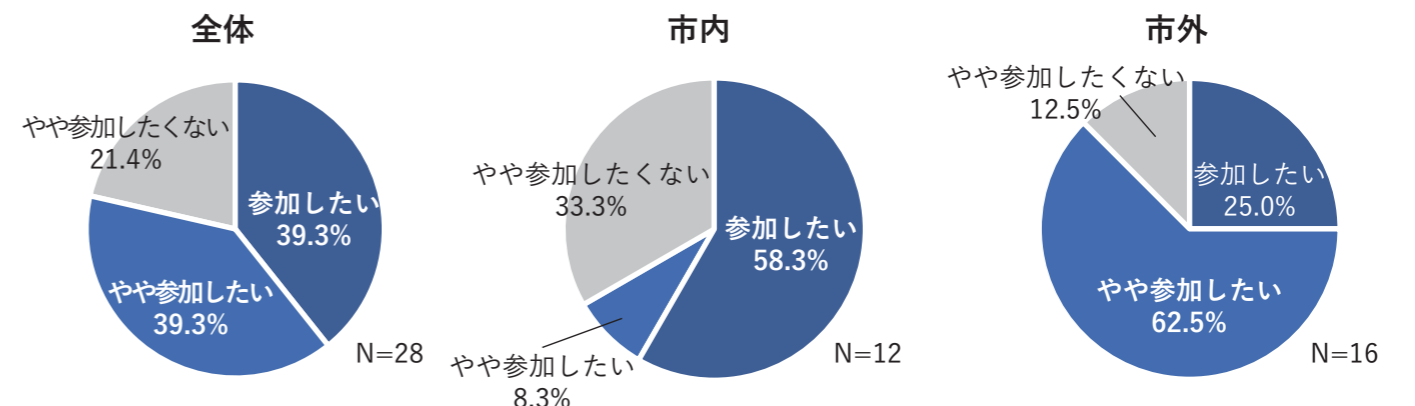
・「水辺での事業性」「回遊性」は市内に比べ市外の評価が高かった。
 ・「満足度」「写真映えする空間」「什器の適切度」は市内に比べ市外の評価が低かった。

2. 満足度



・全体では「やや満足した」が46.4%と高かった。
 ・市内では「満足した」が41.7%、市外では「やや満足した」が62.5%と高く、市内からの評価が高かった。

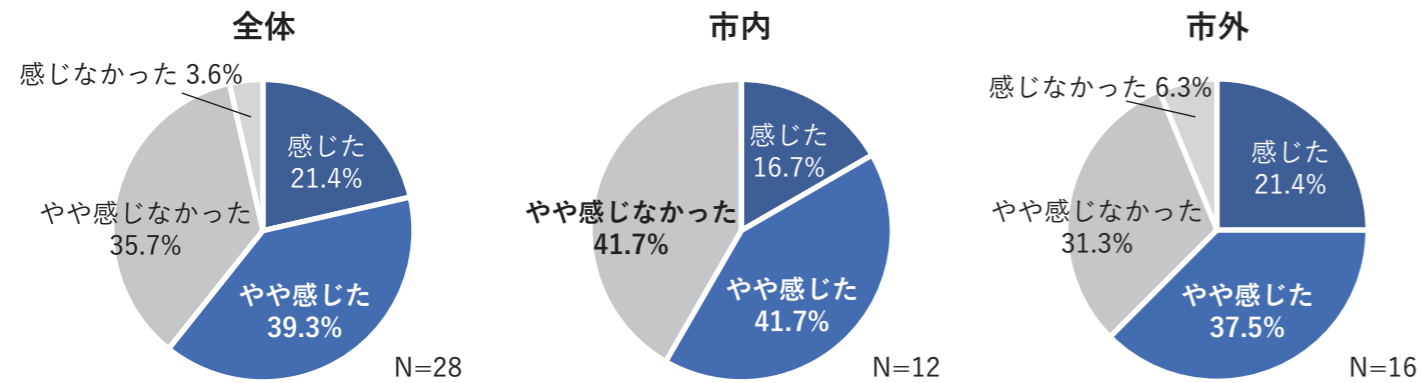
3. 再来希望度



・全体では「参加したい」「やや参加したい」が39.3%と高かった。
 ・市内では「参加したい」が58.3%、市外では「やや参加したい」が62.5%と高かった。

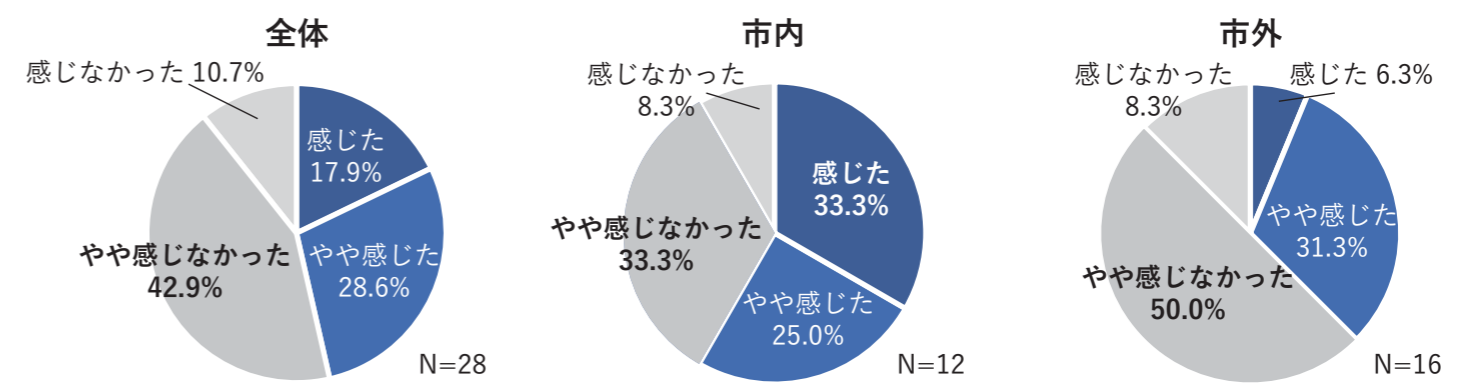
【2】 評価 - 会場 -

4. 桑名らしさ、ブランドコンセプトの認知



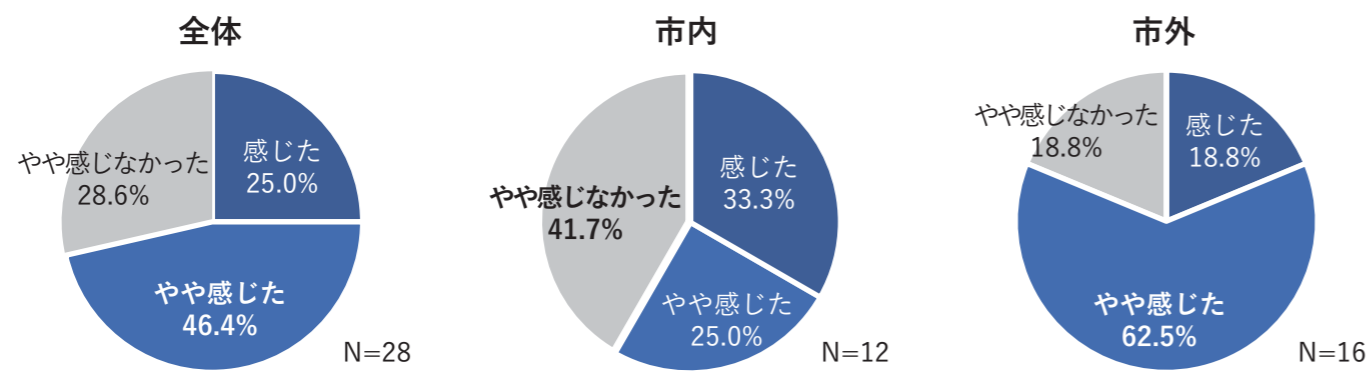
・全体では [やや感じた] が 39.3% と高かった。
 ・市内では [やや感じた] [やや感じなかった] が 41.7% と高く、市外では [やや感じた] が 37.5% と高かった。

7. 写真映える空間であると感じたか



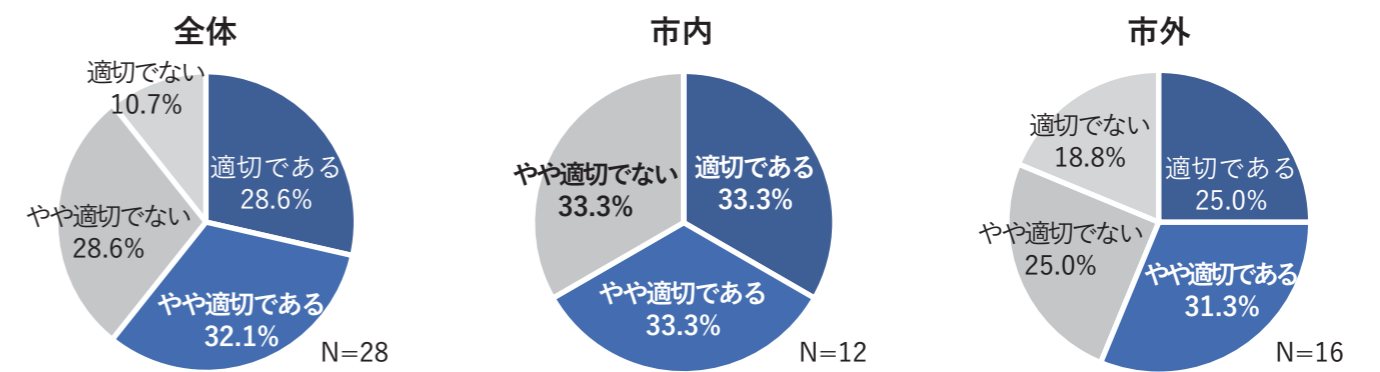
・全体では [やや感じなかった] が 42.9% と高かった。
 ・市内では [感じた] [やや感じなかった] が 33.3%、市外では [やや感じなかった] が 50.0% と高く、市外からの評価が低いことがわかった。

5. 水辺との調和



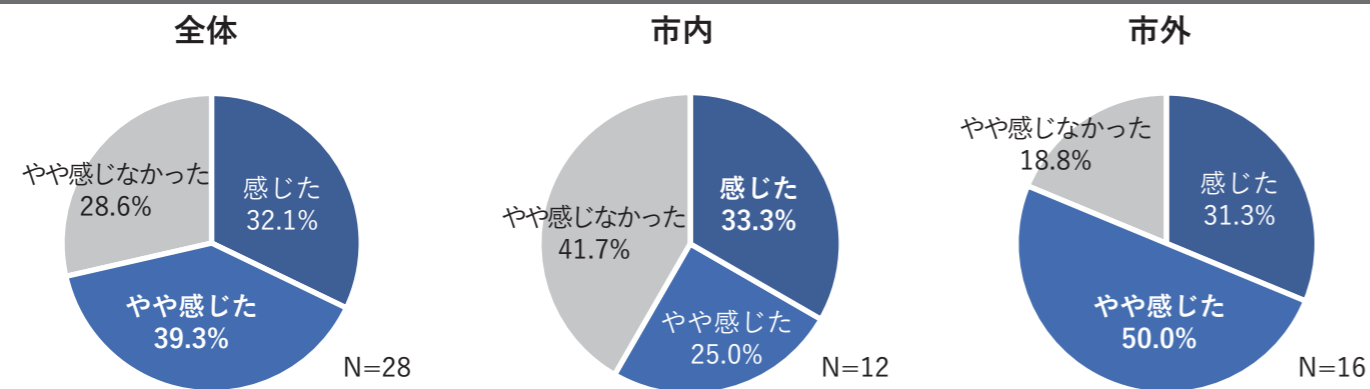
・全体では [やや感じた] が 46.4% と高かった。
 ・市内では [やや感じなかった] が 41.7%、市外では [やや感じた] が 62.5% と高く、市外からの評価が高かった。

8. 什器の適切度



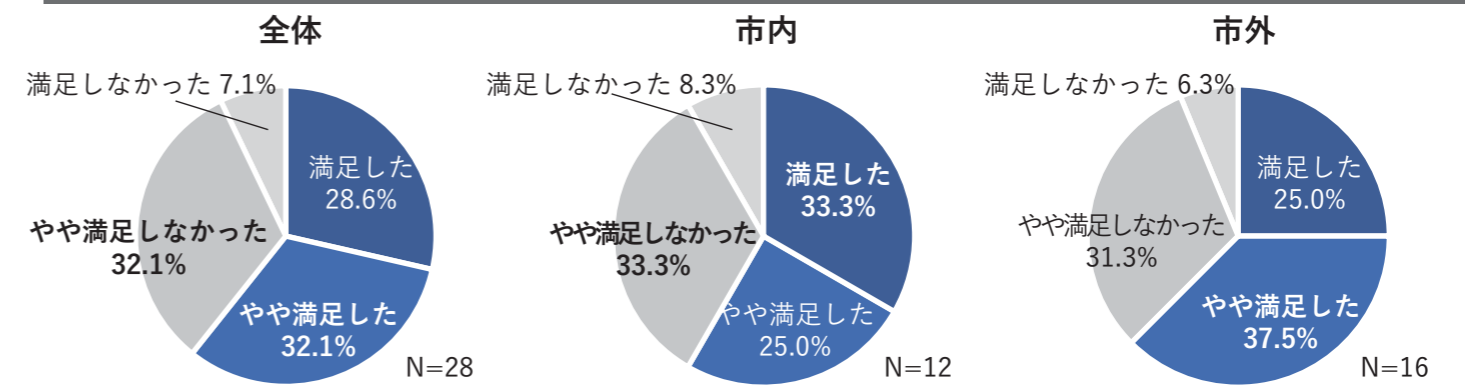
・全体では [やや適切である] が 32.1% と高かった。
 ・市内では [適切である] [やや適切である] [やや適切でない] が 33.3%、市外では [やや適切である] が 31.3% と高かった。

6. 水辺での事業性



・全体では [やや感じた] が 39.3% と高かった。
 ・市内では [やや感じなかった] が 41.7%、市外では [やや感じた] が 50.0% と高く、市外からの評価が高かった。

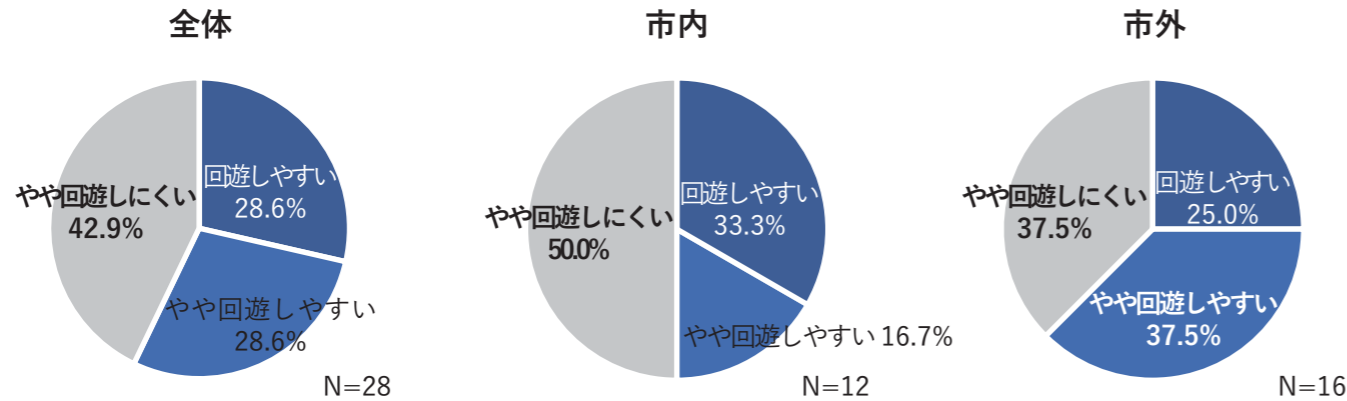
9. 演出の満足度



・全体では [やや満足した] [やや満足しなかった] が 32.1% と高かった。
 ・市内では [満足した] [やや満足しなかった] が 33.3%、市外では [やや満足した] が 37.5% と高かった。

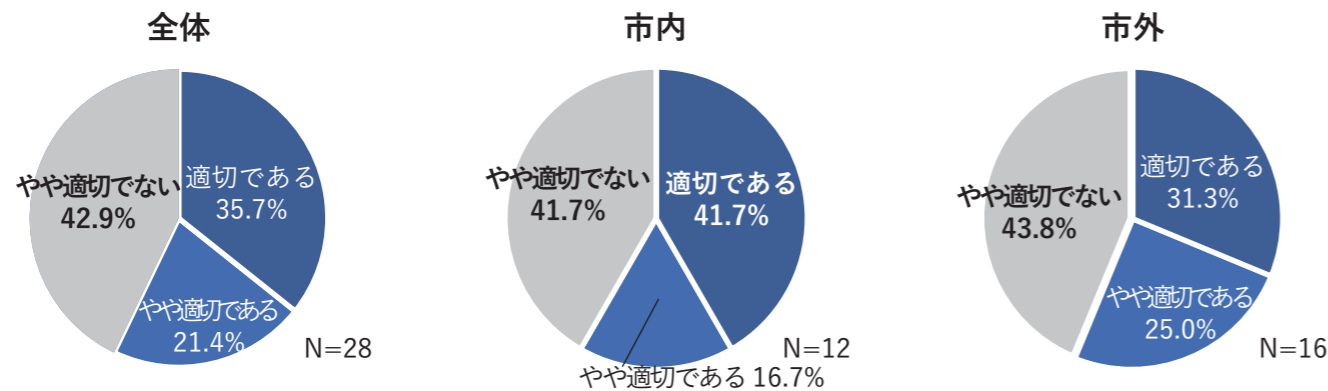
【2】 評価 - 会場 -

10. 回遊性



・全体では [やや回遊しにくい] が 42.9% と高かった。
 ・市内では [やや回遊しにくい] が 50.0%、市外では [やや回遊しやすい] [やや回遊しにくい] が 37.5% と高かった。

11. 会場の広さの適切度



・全体では [やや適切ではない] が 42.9% と高かった。
 ・市内では [適切である] [やや適切でない] が 41.7%、市外では [やや適切でない] が 43.8% と高かった

考察

【全体から】

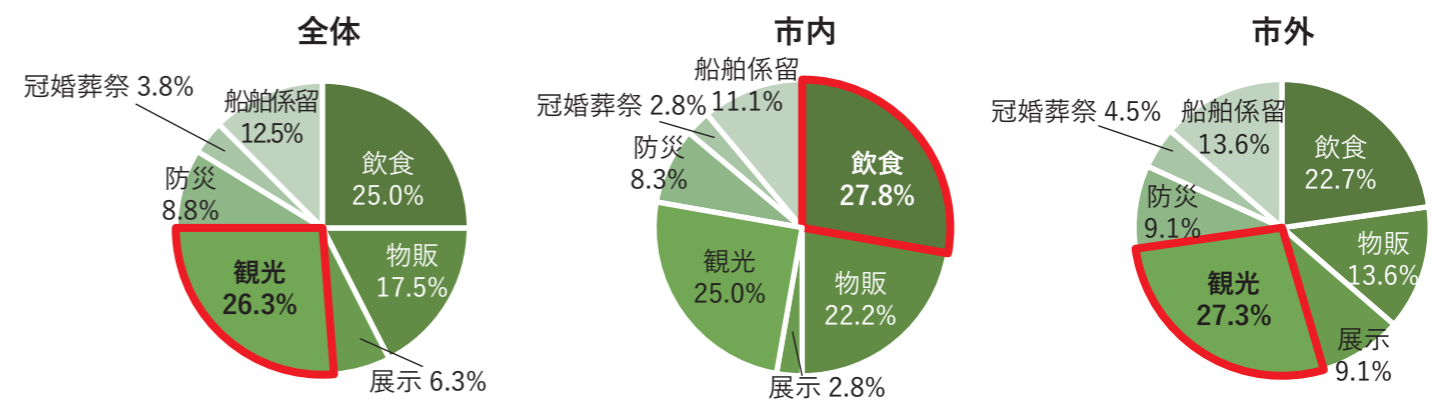
・「水辺との調和」や「水辺での事業性」の評価が高い。これは水辺を利用することの新規性が影響していると考えられる。
 ・「写真映えるような空間」や「桑名らしさ、ブランドコンセプトの認知」の評価が低く、今後の改善点として、ブランドカラーをより多くの什器に統一していくことや、フォトスポットを設けるなどが考えられる。

【市内・市外の比較から】

・市内の方が市外よりも会場に対する「満足度」が高い。これは、普段からよく知る場所が新たな使われ方をされていたことが影響していると考えられる。

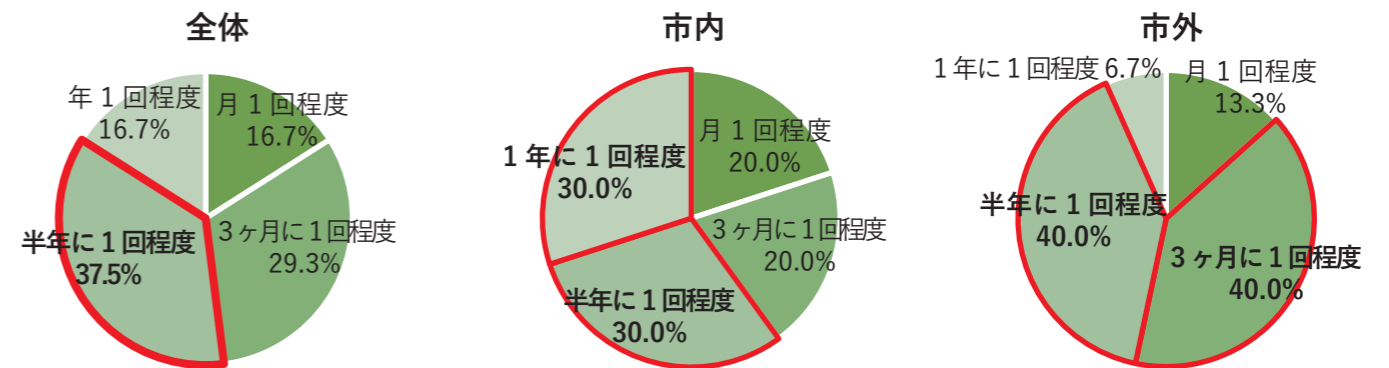
【3】 要望

1. 開催内容



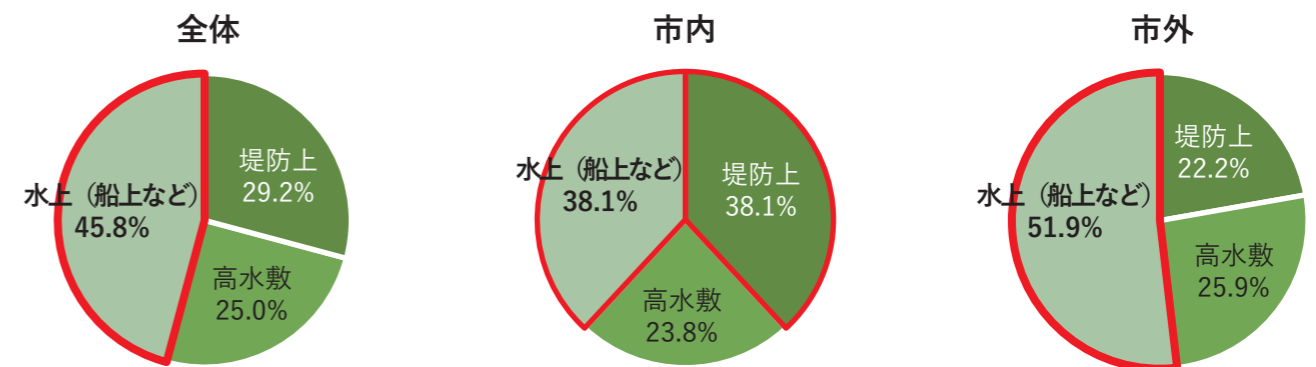
・全体では「観光」が 26.3% と高かった
 ・市内では [飲食] が 27.8%、市外では [観光] が 27.3% と高かった。

2. 開催頻度



・全体では「半年に1回程度」が 37.5% と高かった
 ・市内では [半年に1回程度] [1年に1回程度] が 30.0%、市外では [3ヶ月に1回程度] [半年に1回程度] が 40.0% と高かった。

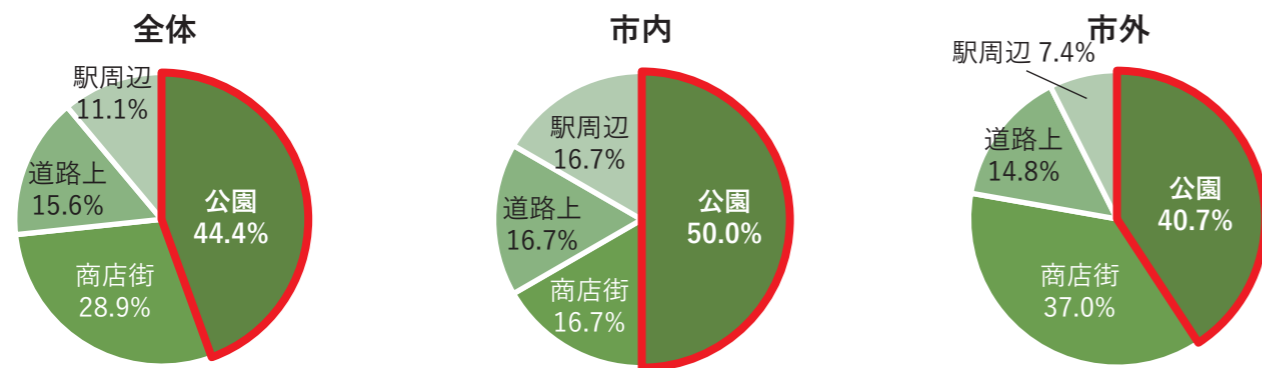
3. 開催場所 (水辺)



・全体では「水上 (船上など)」が 45.8% と高かった
 ・市内では [水上 (船上など)] [堤防上] が 38.1%、市外では [水上 (船上など)] が 51.9% と高かった。

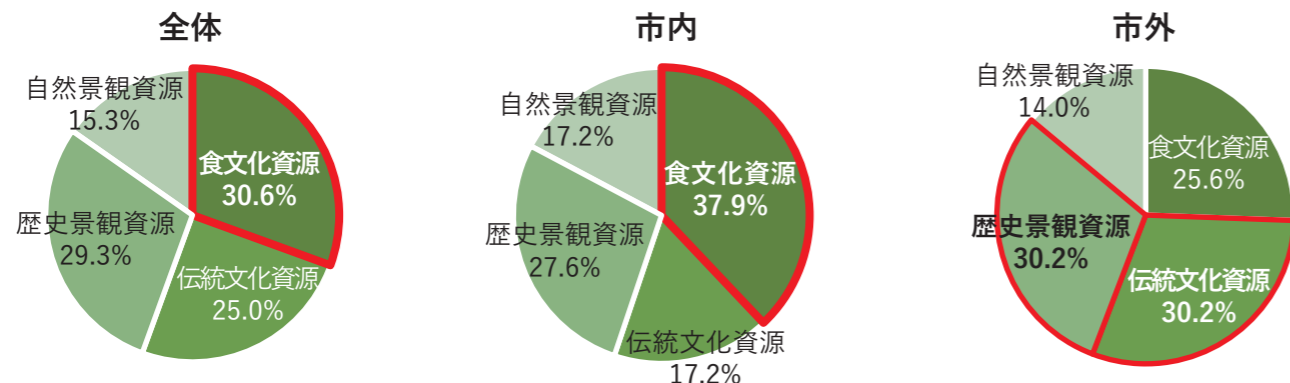
【3】 要望

4. 開催場所（水辺以外）



・全体、市内、市外では共通して「公園」がそれぞれ 44.4%、50.0%、40.7% と高かった。

5. 活用してほしい地域資源



・全体では「食文化資源」が 30.6% と高かった
 ・市内では「食文化資源」が 37.9%、市外では「伝統文化資源」「歴史景観資源」が 30.2% と高かった。

考察

【全体から】

・水辺以外での開催場所は公園の評価が高く、これは今回の社会実験が公園と連携して行われていたためであると考えられる。

【市内・市外の比較から】

・活用してほしい地域資源では市内は食文化資源が高く、市外では伝統文化資源や歴史文化資源の項目が高い。これは市内の方の食文化に対する意識の高さや、市内市外で魅力を感じる部分が違うことが考えられる。

【4】 今後の課題

A 水辺との関係性



【食の評価】

・「水辺との調和」「水辺での事業性」の評価が低い。

【要望】

・「開催場所（水辺）」では水上（船上など）を利用する要望が高い。

【ワークショップ】

・船や栈橋を利用して水辺を生かすべきという意見が多く出た

→ コンテンツと水辺とを関係付けるような工夫が必要

C 会場演出



【会場の評価】

・「写真映えするような空間」の評価が低い。

【ワークショップ】

・当日の照明車による影響や足元の暗さについての意見、また演出の方法などの意見が多く出た。

→ 空間演出を意識した会場の設えや照明計画が必要

B 食のコンテンツ



【食の評価】

・市内と市外で大きく評価が分かれている。

【要望】

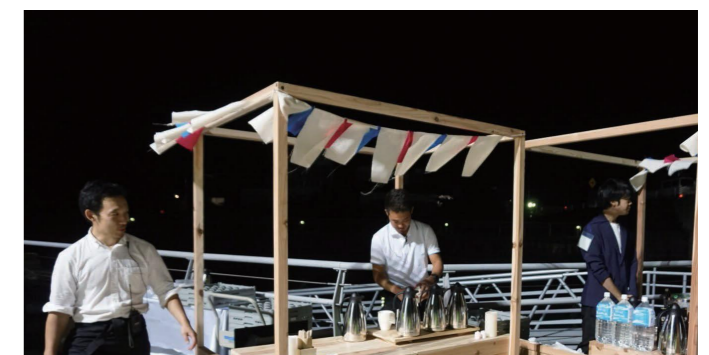
・市内からは食を利用して欲しいという要望が多い。

【ワークショップ】

・地元で親しまれている特産品の楽しみ方をすべきという意見が多く出た

→ 市内、市外双方の視点から考えることが必要

D 雨風への対策



【ワークショップ】

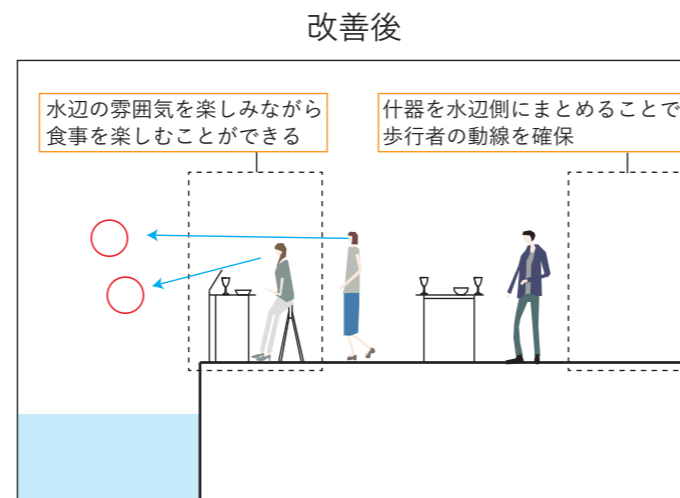
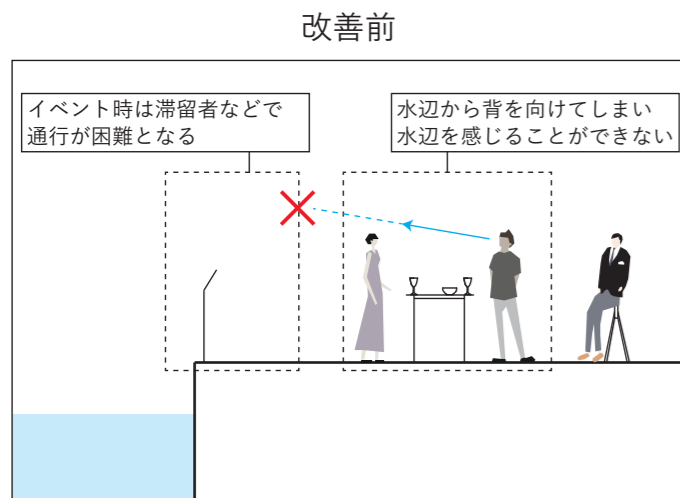
・社会実験後のワークショップでは水辺ならではの風の強さや雨への対策が一つの話題となった。

→ 事前の対策や想定が必要

課題を受けて来年度の取り組み提案

【5】今年度を受けての提案

A 水辺との関係性：水辺を巻き込み、親水性を感じるコンテンツとスペースの整備



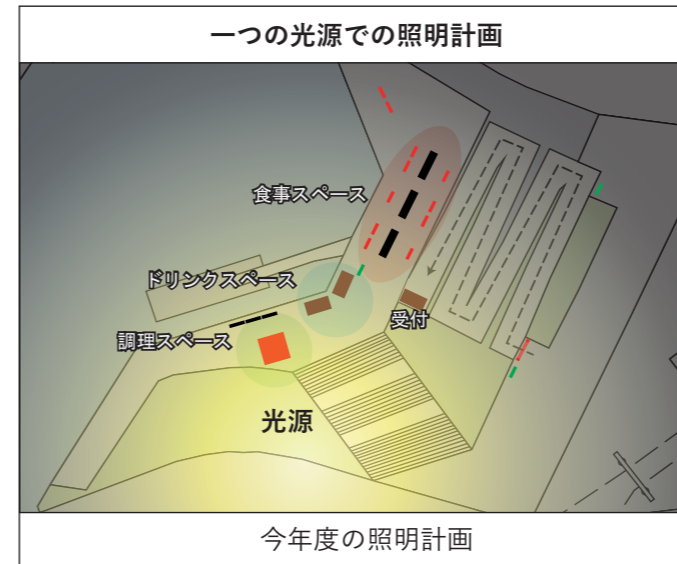
B 食のコンテンツ：市外と市内の視点を取り入れた運営



コンテンツは市内と市外で評価される点が違うことが今回の実験で明らかになった。そのため、市内ならではの視点と市外からの視点の双方から、コンテンツを思考していく必要がある。



C 会場演出：演出を意識した照明計画



今年度の照明計画は照明車による一つの大きな光源で会場を照らしていた。それにより食事スペースの明るさの不足や、光の演出を行った際にその演出が効果的でなくなってしまうという問題点があった。

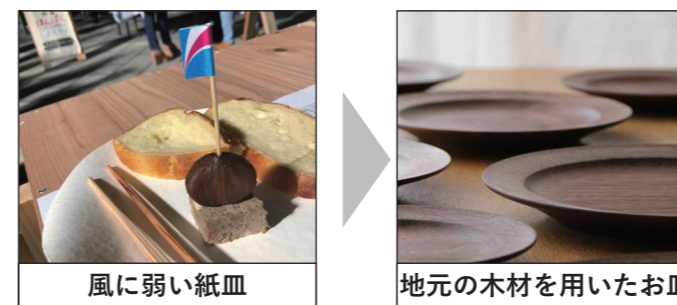


一つの光源で明るさを保つのではなく、それぞれのスペースにあった明るさの確保が求められる。食事スペースや調理スペースは明るい照明で、また水辺付近は演出のために明るさを抑える必要がある。

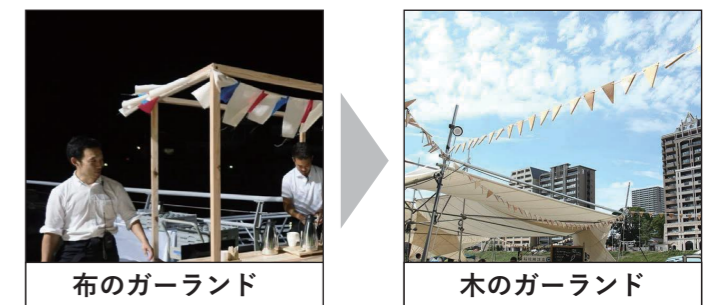
■照明計画の例



D 雨風への対策：野外ならではの設えや素材の工夫



今年度では料理の提供時に紙皿が使用され、風により紙皿が飛んでしまう場面が多く見受けられた。そこで評価の高い地元の木材を利用した皿を使用することで、風の対策をし加えて桑名ブランドを発信する。



今年度もちいたガーランドは布であったため、風により形が崩れブランドカラーが上手く表現されなかった。木のガーランドを用いブランドカラーに統一することで、より効果的な装飾を目指す。